

○ 平成 30 年度第 1 回恵庭市社会福祉審議会会議録

平成 31 年 3 月 25 日（月）10:00～
市民会館大会議室

【出席者】

＜出席委員＞伊藤委員、小田委員、鏡委員、下原委員、西根委員、菅原委員

＊欠席委員～島田委員、渡邊委員、泉委員、佐々木委員、熊谷委員

＜事務局＞保健福祉部長、子ども未来部長、保健福祉部次長、保健センター長、子ども未来部次長、福祉課長、国保医療課長、障がい福祉課長、介護福祉課長、介護福祉課主幹、保健課長、健康スポーツ課長、子ども家庭課長、子ども家庭課主幹、子育て支援課長、子育て支援課主幹、子ども発達支援センター長、福祉課庶務担当主査（記録者）

【傍聴】

なし

（司会進行：福祉部次長）

1 開会

2 会長挨拶

＊鏡会長

おはようございます。本日は、年度末ということもあり、皆さんお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、行政の皆さんは内示も出て落ち着かない人も居るかもしれませんが、これから進めて参りたいと思います。各専門部会からの報告事項がありますが、スピーディーに進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3 報告事項（以下進行は会長）

各専門部会より

①高齢者福祉・介護保険専門部会（説明：西根委員）

- ・恵庭市地域密着型サービス等事業予定者の選定結果について
- ・ひとり暮らし高齢者世帯等冬季除雪サービス事業における受益者負担の導入について（説明：介護福祉課長）
- ・第2層生活支援コーディネーターの配置について
- ・恵庭市認知症初期集中支援チームの設立について（説明：介護福祉課主幹）

②障害者福祉専門部会（説明：鏡部会長）

- ・ えにわ障がい福祉プランの取組状況について
- ・ 農福連携の取組み状況について
- ・ 手話言語条例（仮称）策定の進捗について
- ・ 恵庭市人工透析通院交通費助成事業の制度改正について
- ・ 医療的ケア児支援協議の場の設置について
- ・ 恵庭市総合相談支援センターの運営報告について（説明：障がい福祉課長）

③児童福祉専門部会（説明：小田委員）

- ・ 第3次恵庭市保育計画の中間見直しについて（説明：子育て支援課長）
- ・ えにわ子育て応援隊について（説明：子ども家庭課長）

<各専門部会について質疑>

伊藤委員

質問したいことが二つあるのですが、一つ目は高齢者福祉・介護保険専門部会資料の6ページの除雪についてですが、アンケートの結果、回答くださった方たちの大半が月 2000 円から 3000 円程度であれば負担可能という回答です。近隣市町村のデータも6ページ下にありますが、市として2ヶ月あたりの負担額を該当する方々にお願いするとしたら、このアンケートの結果どおりの金額を見込んでいるのか、コストの計算の見通しや予定等々含めて、もし分かれば教えていただきたい。

もう一点が、障害者福祉専門部会の資料8ページに農福連携の事例集が未定稿という形で載せていただいたのですが、農福連携は全国的に盛り上がってきているということもあり、こういう事例集を作成いただくことは大変素晴らしいことと思っています。中身を拝見すると、作業工程マニュアルということで成功事例集という形で出ていますが、農家の方や事業者の方は、マッチングが成功するためにはどのようなことに気を付けたらいいのかということが、事例集に載っていたほうがいいのではないかと、個人的には思っておりまして、どういう作業をどういうふうにするのかということも、もちろん重要ですが、例えば障がいのある方は様々な障害特性がありますから、この方にこの作業は実はどうなのか、ということを誰かがジャッジしなければならず、その時に農家の方として受け入れる側がどういうことに気を付けたり注意したら良いか、事業者の側が利用者の方の特性をふまえて、お互いに事前にどういうすりあわせを行っていくとうまくマッチングできるのかというようなことについて、もし、このマニュアルや事例集以外で何かガイドライン的なものを作成されているのであれば、それで結構だと思うのですが、そのあたりについて、教えていただければと思います。

介護福祉課長

除雪の負担額につきましては、具体的にご負担いただく額などについては、まだ出していません。アンケート調査の実施や、近隣市町村の実施状況の把握は行っているため、なるべく利用者の方に大きな負担にならないようにという考えでございますが、具体的な額についてはまだ検討中ということです。

障がい福祉課長

農福連携の事例集以外の冊子の作成については、「恵庭市として」ということでしょうか。

伊藤委員

そうです。ネットワークを立ち上げられたということなので、その中でこの事例集以外に何か製本物みたいなもので、マッチングの流れや、マッチングがうまくいくためのポイントを作成されていればここにあえて載せる必要はないなと思ったのですが。

障がい福祉課長

この事例集は今年度初で、このネットワークも平成27年度末に立ち上がり、農福連携自体も始まってから3年目くらいの取組であり、成功している事例が固まってきたもので、情報発信としてこういった内容で作成しております。これは全道でも、おそらく恵庭市が初の発信となると思っておりまして、農福連携の第一人者であります酪農大学の教授や、厚生労働省の方にも大変ご講評をいただいているところでございます。マッチングを成功させるためにどういうことをさせたらよいかということ載せたらいいのではないかとということにつきましては、そういったところについて、文字にすることがとても難しく、事業者側の農家理解、農家さんの障がい理解というところがうまくいかないと、言葉ではないところでうまくいかない、というのがこの事業の難しさなのではないかとということで、そのような勉強の機会のため、今年度も2回シンポジウムを行い、それぞれ事業所の方々がどういったことに気をつけているのかを、報告をしています。また、ネットワーク会議を今年度も2回開催しており、事業者さんと農家さんとが協議する場を設けておりまして、そこで色々な話し合いをし、理解を深め、課題の抽出をしているところでございますが、文字として、こうしたら成功するというものは今のところ作成しておりません。

菅原委員

高齢者福祉・介護保険専門部会資料の2ページから5ページにかけて、地域密着型サービスの事業予定者の決定がございましたが、これらの事業者の所在、もしくは

は事業活動拠点はどのエリアになるのでしょうか。市内で全体的に活動するのか、それとも自分のところで拠点を構えて事業を起こすのかその辺を教えてください。

介護福祉課長

まず、株式会社ビジュアルビジョンでございます。本社は埼玉で、埼玉や関東エリアで介護保険事業を展開している会社でございます。恵庭での、グループホームの設置場所としましては、柏木町を予定してございます。有限会社時館につきましては、札幌市の会社でございます、札幌市内でこちらもグループホームや介護保険事業を広く展開している事業者でございます。こちらは、恵庭市内では島松本町でグループホームを設置する予定としております。定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業のH I T O W A ケアサービス株式会社でございますが、社名変更をいたしまして、以前は長谷川介護サービスで、恵庭市内では駅前の イリーゼを運営しており、全国的に介護保険事業を展開している会社でございます、両方とも事務所としましてはイリーゼの建物の中で事業所を実施していただけるということでございます。

(2) その他の事項について

事務局より

保健福祉部長

本日は平成 30 年度最後の社会福祉審議会ですので、私のほうから一言ご挨拶を申し上げたいと思います。この一年間、委員の皆様には、高齢者をはじめ、障がいをお持ちの方や子どもたちなど、当市の福祉行政の取組に対しまして、お忙しい中ご協力いただき感謝申し上げます。本年度におきましては、各専門部会において恵庭市の地域福祉を推進する上での重要な計画の見直しや、各福祉事業、施策についてご審議をいただいたところであり、誠にありがとうございます。今後につきましては、ご審議いただいた内容に基づき、恵庭市の福祉行政の充実に努めてまいりますので、次年度におきましても更なるご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。これまでありがとうございました。

4. 閉会

10時40分 閉会